

# 三重県養殖海域における SRSV遺伝子モニタリング調査

## ①養殖海域筏の指定、水深1 m

A海域：浦村海域 B海域：的矢湾 C海域：桃取海域（98年のみ、答志島）

## ②サンプリング

- ・ 毎月（10～3月）1回、かき玉の状態で搬入、中腸腺（消化盲嚢）を検体（1997・1998年度） → 5個を1検体、非出荷時期も実施（1999年度～） → 5個を1個ずつ検査：個体差・汚染率を観察
- ・ 2001年度～ 1～3月：2回／月
- ・ かき玉に付着するムラサキイガイ、B海域の海底泥も採取（1998年）

## ③検査結果の表記

＋：陽性／5個のかきの中腸腺（1997・1998年度）

＋：1～2個陽性／5個（1999～2001年度）

＋＋：3個以上陽性／5個（1999～2001年度）

## ④検査法：PCR法

## ⑤検査実施機関：三重県衛生研究所（現三重県保健環境研究所）



# SRSV遺伝子定点観測 (H9~H10)

採取年月日	A海域		C海域		B海域		
	かき	Δサキガイ	かき	Δサキガイ	かき	Δサキガイ	海底泥
97/04/11	+				+		
05/09	-				-		
06/13	-				-		
07/11	-				-		
08/08	+				+		
09/12	-				+		
09/26	-				-		
10/13	-				-		
11/14	-				-		
12/12	-				-		
98/01/09	-				+		
02/13	-	+			-	+	
03/13	+	+			-	-	
/							
06/12	+	-	-	-	+	-	-
07/14	-	-	+	+	-	-	+
08/18	+	-	-	-	-	-	-
09/11	-	-	-	-	-	-	-
10/08	-	-	-	-	-	-	-
11/16	-	-	-	-	-	-	-
12/15	-				-		
99/01/20	-				-		
02/15	-				+		
03/15	-				+		

検査法: PCR法によるSRSV遺伝子検出

(1st primer set: NV35/36, Nested primer set: NV81/NV82, SW82)

定点: 浦村海域及び的矢湾の水深1m地点、サンプリング: 1玉

# SRSV遺伝子定点観測(H11~H13)

採取年月日	A海域		C海域		B海域	
	かき	海水	かき	ムササギガイ	かき	海水
1999/10	—				+	
11	—				+	
12	+				—	
2000/1	—				++	
2	—				+	
3	—				—	
2000/10	—				—	
11	—				—	
12	—				—	
2001/1	—				+	
2	—				—	
3	—				—	
2001/10	—				—	
11	—				—	
12	—	—			—	—
2002/1/15	++	+			+	—
1/28	++	—			+	—
2/04	+	—			+	—
2/12	—	—			—	—
2/18	+	—			—	—
2/25	—	—			—	—

検査法: PCR法によるSRSV遺伝子検出

(1st primer set: NV35/36, Nested primer set: NV81/NV82, SW82)

定点: 浦村海域及び的矢湾の水深1m地点、サンプリング: 1玉



# サンプリングかき

(ホルマリン固定)1997年4月～9月

M: 的矢 (B海域) U: 浦村 (A海域)



非出荷時期かきのSRSVモニタリング検査の際、かき玉のままサンプリングしたが、そのうち1個を組織検査用に殻つきのままホルマリン固定した。毎月かきが生長していく様子が見られる貴重な画像である。(特にM: 的矢湾)

組織標本は、松阪食肉衛生検査所で作成、現在も保管されている。

# かき出荷時期のSRSV遺伝子検出と食中毒

採取年月日	A養殖海域		B養殖海域	
	かき	食中毒発生件数	かき	食中毒発生件数
1997/10/13	—		—	
11/14	—		—	
12/12	—		—	
1998/01/09	—	1	+	3
02/13	—	2	—	
03/13	+	1	—	
10/08	—		—	
11/16	—		—	
12/15	—		—	
1999/01/20	—	1	—	
02/15	—		+	
03/15	—		+	
1999/10	—		+	
11	—		+	
12	+	1	—	
2000/1	—	2	++	
2	—	2	+	2
3	—		—	
2000/10	—		—	
11	—		—	
12	—		—	
2001/1	—		+	
2	—	1	—	
3	—		—	
2001/10	—		—	
11	—		—	
12	—	1	—	
2002/1/15	++		+	
1/28	++	1	+	
2/04	+		+	1
2/12	—	2	—	

かきにおけるSRSV遺伝子の検出率が高い時期（1月・2月）に、やはり食中毒も発生していた。1997年5月にウイルス性食中毒が定義される以前、かきによる「冬季原因不明食中毒」が発生した時期とも一致していた。

かき玉として1年以上同じ地点で生長したかき5個を選び個々にSRSV遺伝子の検査をすると、個体差があること、年度によって検出（汚染）率に差があることが確認された。

ノロウイルス遺伝子は、それ以外の時期のかきやムラサキイガイ、また養殖海域の海底泥からも検出された。

しかし、おおむね1月～2月に健康被害が集中していることから、この時期のノロウイルス遺伝子の検出状況を確認することが、健康被害の防止には重要であることが明らかとなった。